



CTIPCシリーズ IPネットワークカメラ

CTIPC550C 設定マニュアル

<https://jp.ctronics.com>

スマホアプリ:

以下のQRコードを読み取ってダウンロードしてください。あるいは弊社のホームページで最新バージョンをダウンロードしてください。



パソコンソフト:

<https://jp.ctronics.com>

弊社のホームページでダウンロードしてください。

専用アプリのダウンロード	ダウンロード
パソコン用アプリ HIP2P (Windows)	Apr 26, 2021 Download
MAC用アプリ HIP2P	Apr 26, 2021 Download
スマホ用アプリ Ctronics	Apr 26, 2021 Download
カメラのIPアドレス検索ツール	May 4, 2021 Download
カメラの録画ファイルを再生するプレーヤー	May 4, 2021 Download
フォーマットコンバーター	May 4, 2021 Download
CTronics カメラ詳しい設定方法について (スマホアプリCtronicsとパソコンアプリHIP2P のマニュアル)	
Ctronics カメラ 詳しいマニュアル	Dec 16, 2020 Download
CTIPC-295C-IP 30倍光学ズーム対応カメラの受光感測、自動監視機能の設定方法	Aug 11, 2020 Download

二 動体検知アラーム通知設定:

携帯電話で以下のQRコードをスキャンしたり、或いはQRコード下のリンクをクリックしたりして、「バックグラウンドでアプリの実行を許可する」動画をご覧ください。動画を参考して操作してください。



<https://youtu.be/8HwxfwaX4yM>

(Androidスマホのみ適用する)

次は以下の写真の通り、アプリで動体検知をオンに設定してください。



三 詳しい機能の説明と設定:

1.投光威嚇機能

人を検知すると、赤と青のLEDライトが点滅します。侵入者を威嚇して犯罪を未然に防ぐことができます。追尾中のライトは赤/青LEDのON/OFF設定は可能です。

この機能をオン・オフに設定する方法は以下の通りです。

‘37’を入力して、‘設定’をクリックすれば、オフになります。

‘37’を入力して、‘呼び出し(調整)’をクリックすれば、オンになります。



2.ヒューマン検知設定

ヒューマン検知と動体検知両方設定すれば、スマホに人以外の通知ばかりが届いてしまうことはありません。虫とか動物に反応せず人間のみの的確にとらえます。誤警報がありません。

写真の通り、リンケージトリガーモードに設定してください。

デフォルトのアラーム録音時間は15秒で、変更できません。



3.アラーム音をカスタマイズする

以下の写真の通り、アラーム音の設定をカスタマイズできます。犬の鳴き声、サイレンの音、お客様の専用の音声ファイルをアラーム音に設定することが可能です。長さが5秒から30秒までです。





4. アラーム音量を調整する

以下の写真の通り、アラーム音量を調整することが可能です。

注意事項:「マイク」として選択する必要があります。



5.自動追尾設定

まずカメラを監視したい位置に止まって、
‘92’を入力して、‘設定’をクリックしてください。
‘92’を入力して、‘呼び出し(調整)’をクリックしてく
ださい。

こうすれば、監視範囲に人の動きを検知してから、カ
メラが自動的に追尾します。被写体が消えると、追尾
開始前の位置に戻ります。



追跡機能をオフにする方法: ‘94’を入力して、‘呼び
出し(調整)’をクリックしてください。



6.プリセット位置とパトロール機能設定

この防犯カメラはパトロール機能、オートフォーカス機能を連動させた自動追尾機能を実現します。

下記画面で、1,2,3…を入力して、'設定'をクリックして、順に[初期位置]を設定してください。

[初期位置1]を確認したい場合、'1'を入力して、'呼び出し(調整)'をクリックしてから、カメラが自動的に回転して、'1'の位置に向きます。



※ 各オートクルーズは最大16個のプリセット位置を設定できます。

以上でプリセットの設定は完了です。次にパトロールの設定を行います。

パトロールを設定する前に少なくとも3つのプリセットを設定しておく必要があります。

パトロール機能を利用すると、カメラは設定された位置とズーム倍数1、2、...に従って、オートフォーカスして、追尾します。アプリのライブ画面を手動でスライドすると、パトロールが終わります。

プリセット位置 1～16：'41'を入力して、'呼び出し(調整)'をクリックしてください。

プリセット位置 17～32：'42'を入力して、'呼び出し(調整)'をクリックしてください。

7.パトロールと自動追尾の設定

プリセットを設定した後で、予め設定した監視エリア内に動きを検知すると、その被写体を自動的に追尾して撮影できます。

被写体が消えた後で、元の設定されたクルーズラインに従って、パトロールし続けます。

'93'を入力して、'設定'をクリックすれば、自動追尾機能とパトロール機能が同時に利用できます。

ご注意:自動追跡とパトロール機能をお使いになる時に、最初のパトロール(1から16のプリセット位置)のみがサポートされます。



‘94’を入力して、‘呼び出し(調整)’をクリックすれば、自動追尾機能とパトロール機能がオフになります。



8.プリセット位置を削除する

プリセット位置を削除する‘115’を入力して、‘呼び出し(調整)’をクリックして、すべてのプリセット位置を削除します。

